

# 琉球大学学術リポジトリ

## 1972年の沖縄返還時の有事の際の核持ち込みに関する「密約」に係る調査関連文書No.1

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 核持ち込みに問題, ジョンソン次官 キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43894">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43894</a>

45

特種

要写部

発電係 総第 974 号  
昭和 44 年 11 月 11 日 時 分 宛

電信課長 電信案 (分類) 44.1.11 17.30

略平	第 40 号 (LTF)
主任	李正植
起案	昭和 44 年 11 月 11 日
起案者	稲長
電話番号	

主任 稲長

起案者 稲長

電話番号

在 米 吉生 臨時代理 大公使 宛 大臣 宛  
総領事 愛知

電報 在 大公使 宛  
総領事

件名 仲展問題の件

1.10日 李大臣 右字米土使を招き 同土使  
就任に先立 仲展問題に因り 宛に  
要請した。李大臣より (1) 今秋 宛理  
指米の際 時断を要する事。 (2) 李土

GB-1 外務省 回覧番号 10531

漢 11-110

写 済

並み以上の条件は 暫定的に付すを得  
たこと (1) 仲展土庫に付しは 朝鮮  
事案の協会の如く 問題なしと思ふに  
合し 更に是等の様式に 暫定的  
に意見が一致すれば 表現形式に  
得べきこと。 (2) 換を付すに 是れ  
受院周辺に 思ふが 在る 換に  
付し 是等の 指米を 求め 尋詰  
を付し 在るに 付し 土使 (2) に付し 一  
事件が 成就 するに 暫定的に 宛理を  
認め 在るに 付し 是れ 可能なるに 付し (1) に付し  
何事か 付し 在るに 付し 宛理に 在るに 付し  
こと。 (2) に付し 換に 付し 宛理に 在るに 付し  
は 別途 特別 宛理を 要するに 付し 何れ  
に 付し 宛理に 在るに 付し 是れ 宛理に 在るに 付し

GB-3 外務省

はごまのてはふいか 等コメント。原に  
次におは後ち ~~は半肉の奇異鏡~~ 袁研  
をを援けつてまを給~~て~~せいた。

2. 本会後の際(1) 今年秋 11月頃の  
換現訪米 及び(2) 夏頃の 閣議全般  
用儀に付 新路線に要請する旨を  
式に申入 せられた。

妻組は下記に便解に後 聴取  
ありし。

(3)